平成 23 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名　テ　ラ　株　式　会　社
代表者名　代表取締役社長　矢﨑 雄一郎
（コード番号：2191）
問合せ先　取締役管理本部長　山本　龍平
電　　話　０３－６２７２－６４７７

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 11 月 15 日開催の取締役会において、旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤原健嗣）に対して、第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当増資」）を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．募集の概要

(1)	発行期日	平成 23 年 12 月 6 日
(2)	発行新株式	普通株式 697,000 株
(3)	発行価格	1 株につき 430 円
(4)	発行価額の総額	299,710,000 円
(5)	資本組入額	1 株につき 215 円
(6)	資本組入額の総額	149,855,000 円
(7)	募集又は割当方法 （割当先）	第三者割当の方法による 旭化成株式会社

２．募集の目的及び理由

当社グループは、「医・療・を・創・る」を経営理念として、がんワクチン療法の一つである樹状細胞ワクチン療法等を中心とした研究開発、全国の医療機関に対する営業開拓、セミナー等を通じた患者に対する情報提供、学会等での発表を中心とした学術活動、及び主に大学医療機関に対する細胞加工施設の運営受託・保守管理サービスを継続的に行っております。 また、更なる事業拡大に向け、中期成長戦略として、既存事業の深耕、新規事業の立ち上げ、研究開発シーズの事業化を推進しております。

このような状況の中、当社は、中期成長戦略の実現のために、契約医療機関への設備投資、新規がん免疫療法及び新規がん抗原等に関する研究開発、及び医療機関支援に関するシステム開発が必要不可欠と考えております。

当社は、契約医療機関への設備投資、研究開発及びシステム開発実施のための費用として、資金調達の手段を検討した結果、共同研究開発先である旭化成株式会社を割当先として、本第三者割当増資を実施することといたしました。

本第三者割当増資の実施により、中期成長戦略が推進されるとともに、財務基盤が強化されると考えております。さらに、割当先である旭化成株式会社との関係強化が図られることにより、同社との共同研究開発がより一層推進され、また同社との新たな事業展開が期待されます。

３．調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1)調達する資金の額（差引手取概算額）

調達する資金の総額	299,710,000 円
発行諸費用の概算額	1,993,000 円
差引手取概算額	297,717,000 円

（注）１　発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。
　　２　発行諸費用の概算額の内訳は、登記費用1,130千円、その他手数料863千円であります。

(2)調達する資金の具体的な使途

上記の差引手取概算額 297 百万円につきましては、契約医療機関への設備投資（97 百万円）、研究開発（100 百万円）及びシステム開発（100 百万円）に充当する予定です。具体的には、新規契約医療機関（１ヶ所）への細胞加工施設等の設備投資を、平成 24 年３月から平成 24 年８月に予定しております。新規がん免疫療法及び新規がん抗原等に関する研究開発（９件）を、平成 24 年１月から平成 24 年 12 月に予定しております。各研究開発の費用は、数百万円から数千万円規模になる予定です。医療機関支援に関するシステム開発（１件）を、平成 24 年３月から平成 25 年４月に予定しております。なお、調達資金を実際に使用するまでの期間は、当社の預金口座で適切に管理いたします。

４．調達する資金使途の合理性に関する考え方

「３．調達する資金の額、使途及び支出予定時期」に記載のとおり、本第三者割当増資により調達する資金によって、中期成長戦略の実現に必要な投資を行う予定です。これにより、エビデンスの拡充及び業績拡大に寄与するものと考えており、調達資金の使途は、合理的であると判断いたしました。

５．発行条件等の合理性

(1)発行価格の算定根拠及びその具体的内容

発行価格につきましては、本第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前営業日までの直近１ヶ月（平成 23 年 10 月 15 日から平成 23 年 11 月 14 日）の株式会社大阪証券取引所ＪＡＳＤＡＱ（スタンダード）における当社株式の終値の平均値である１株 430 円といたしました。

直近１ヶ月の平均値とした理由としましては、昨今の不安定な株式市場や当社の株価動向等を考慮し、特定の一時点を基準とするより、一定期間の平均値という平準化された値を基準とする方が算定根拠として客観性が高く合理的であると判断したためであります。なお、直前営業日までの３ヶ月間及び６ヶ月間の終値平均値を採用しなかった理由につきましては、平成 23 年３月 11 日の東日本大震災及び昨今の欧州の金融不安等により、当社の株価が急落しており、一定期間の平準化という観点からは適当でないと判断したためであります。

なお、本第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前日の終値は１株 419 円（プレミアム率 2.63％）、取締役会決議日の直前日までの直近３ヶ月間の終値平均値は１株 377 円（プレミアム率 14.06％）、取締役会決議日の直前日までの直近６ヶ月間の終値平均値は１株 420 円（プレミアム率 2.38％）となっております。

当社は、発行価格につきまして、当社株式の客観的な値である市場株価を基準に決定したものであり、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠しており、合理的な発行価格であると認識しております。また、当社監査役会から、取締役会決議日の直前営業日までの直近１ヶ月間の平均値を基準とした発行価格は、当社株式の株価の推移、市場全体の環境、事業状況等を勘案しても、当該発行価格が、上記算定根拠を含めて割当先に特に有利でない旨の意見を得ております。

(2)発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資により、新たに発行する株式数は、普通株式697,000株であり、平成23年11月15日現在の当社発行済株式総数12,377,000株に対して、5.63%の希薄化が生じることとなります。しかしながら、本第三者割当増資は、中期成長戦略の実現を目的としており、今後の業績拡大や企業価値の向上に寄与するものと考えております。よって、今回の発行数量と希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6．割当先の選定理由等

(1)割当先の概要

① 商号	旭化成株式会社	
② 本店所在地	大阪府大阪市北区中之島三丁目３番23号（登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は下記において行っております。） 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長　藤原　健嗣	
④ 事業内容	旭化成グループは持株会社制を導入しており、グループは次の事業セグメント区分で製造・販売等の事業を行っております。 （ケミカル）各種石油化学製品、機能膜、機能化学品、化薬、機能樹脂、家庭用消費材、樹脂加工品、合成ゴムなど （住宅）請負住宅、分譲住宅とリフォーム等の周辺事業など （医薬・医療）医薬品関連、人工腎臓・血液浄化器等の医療機器 （繊維）化合繊および不織布、繊維製品の加工など （エレクトロニクス）電子部品、電子材料 （建材）軽量気泡コンクリート、高機能断熱材など （その他）各種産業設備の建設・保全、人材派遣・紹介など	
⑤ 資本金	103,389百万円	
⑥ 設立年月日	昭和6年5月21日	
⑦ 発行済株式数	1,402,616千株	
⑧ 事業年度末日	3月31日	
⑨ 従業員数	（連結）25,016人	
⑩ 主要取引銀行	三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行、農林中央金庫	
⑪ 大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）　6.38% 日本生命保険相互会社　5.20% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）　5.09% 旭化成グループ従業員持株会　3.31% 株式会社三井住友銀行　2.52%	
⑫ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社と割当先は、平成23年9月30日に共同研究開発に関する契約を締結しております。同契約に基づき、割当予定先と細胞・再生医療に関する技術を融合発展させ、がん治療における、高品質な細胞を安定的、効率的に培養する細胞プロセッシング装置の実用化を目指して共同研究開発を推進しております。
	人的関係	該当事項はありません。
	関連事業当事者への該当状況	該当事項はありません。

⑬ 最近3年間の経営成績及び財政状態			
	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
連結純資産	611,351百万円	644,688百万円	675,602百万円
連結総資産	1,379,337百万円	1,368,982百万円	1,425,879百万円
1株当たり連結純資産	431.77円	452.91円	474.59円
連結売上高	1,553,108百万円	1,433,595百万円	1,598,387百万円
連結営業利益	34,959百万円	57,622百万円	122,927百万円
連結経常利益	32,500百万円	56,367百万円	118,219百万円
連結当期純利益	4,745百万円	25,286百万円	60,288百万円
1株当たり連結当期純利益	3.39円	18.08円	43.11円
1株当たり配当金	10.00円	10.00円	11.00円

(2)割当先を選定した理由

旭化成株式会社は、本年スタートした中期経営計画「For Tomorrow 2015」において、「健康で快適な生活」の実現を通じた「新しい社会価値の創出」に取り組む方針を掲げ、ヘルスケア事業領域の積極的拡大を目指した「これからの医療プロジェクト」による活動を開始されています。また、同社は、このプロジェクトの重要テーマとして、「膜分離・吸着技術」による血液中の抗体や特異的細胞等の採取・濃縮・除去デバイス技術、高度管理医療機器の開発・製造技術、ウイルス除去膜プラノバ関連のバイオプロセス技術、生体適合性に優れた材料開発技術等、同社グループの持つ技術基盤の活用による「細胞・再生医療の実用化」に向けた製品システム開発を推進されています。

当社と旭化成株式会社は、平成23年9月30日に共同研究開発に関する契約を締結し、両社の細胞・再生医療に関する技術を融合発展させ、がん治療における、高品質な細胞を安定的、効率的に培養する細胞プロセッシング装置の実用化を目指して共同研究開発を推進しております。

このような状況のもと、当社は、今後の事業展開における重要なビジネスパートナーとして関係を強化するため、当社の経営理念や中期成長戦略にご理解頂いている旭化成株式会社を割当先に選定いたしました。

なお、割当先は、東京証券取引所市場一部等に上場しており、同社が東京証券取引所に提出している「コーポレートガバナンス報告書」に記載している「内部統制システム等に関する事項」において、反社会的勢力に関する方針・行動規準を公表しております。当社は、割当先、当該割当先子会社の役員若しくは主要株主が反社会的勢力等とは関係がないものと判断しております。

(3)割当先の保有方針

当社は、割当先による本第三者割当増資の引受が、当社と割当先の関係強化を目的とした長期保有の方針であることを確認しております。なお、当社は、割当先から、払込期日より2年以内において当社株式の全部または一部を譲渡した場合には、譲渡を受けた者の氏名又は名称及び住所、譲渡株式数等の内容を直ちに当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容を大阪証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆閲覧に供されることに同意する旨の確約書を受領する予定であります。

(4)割当先の払込に要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当先の第120期有価証券報告書（自平成22年4月1日　至平成23年3月31日）及び第121期四半期報告書（自平成23年7月1日　至平成23年9月30日）に記載の売上高、純資産額、現預金等の状況を確認した結果、本第三者割当増資の払込みに要する資金の状況として問題ないと判断しております。

(5)募集後の大株主及び持株比率

募集前		募集後	
矢﨑 雄一郎	35.45%	矢﨑 雄一郎	33.56%
ユーテック一号投資事業有限責任組合	4.76%	旭化成株式会社	5.33%
堀永 賢一朗	3.79%	ユーテック一号投資事業有限責任組合	4.51%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3.29%	堀永 賢一朗	3.59%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1.54%	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3.11%
大阪証券金融株式会社	1.26%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1.46%
日本生命保険相互会社	1.24%	大阪証券金融株式会社	1.19%
株式会社日立製作所	0.74%	日本生命保険相互会社	1.17%
東京電力株式会社	0.74%	株式会社日立製作所	0.70%
株式会社ＳＢＩ証券	0.60%	東京電力株式会社	0.70%

（注）１　募集前の持株比率は、平成 23 年６月 30 日現在の株主名簿及び平成 23 年 11 月 15 日までに当社が確認した事項に基づき記載しております。

２　持株比率は、少数点第三位を四捨五入しております。

７．今後の見通し

本第三者割当増資による当連結会計年度の業績への影響は軽微であります。

８．企業行動規範上の手続き

本第三者割当増資は、① 希釈化率が 25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないことから、大阪証券取引所の定める「企業行動規範に関する規則」第２条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しないものと判断しております。

９．最近３年間の業績およびエクイティ・ファイナンスの状況

(1)最近３年間の業績

	平成 20 年 12 月期	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期
売上高	546 百万円	974 百万円	1,145 百万円
営業利益	109 百万円	233 百万円	144 百万円
経常利益	107 百万円	197 百万円	131 百万円
当期純利益	59 百万円	109 百万円	76 百万円
1 株当たり当期純利益	5.91 円	9.68 円	6.39 円
1 株当たり配当金	－	1.00 円	0.60 円
1 株当たり純資産	42.39 円	72.07 円	77.89 円

(注)平成 20 年 12 月期から平成 22 年 12 月期は、個別の数値となっております。なお、平成 23 年 12 月期第１四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。

(2)最近３年間のエクイティ・ファイナンス

・公募増資（株式公開時）

発行期日	平成 21 年 3 月 25 日
調達資金の額	259,200,000 円（発行価額：285.20 円）（差引手取概算額）
募集時における発行済株式数	10,082,000 株
当該増資による発行株式数	1,000,000 株
当初の資金使途及び支出予定時期	・新規基盤提携医療機関の設立支援のための設備投資 （平成 21 年 4 月～平成 21 年 10 月） ・医療機関向けシステム開発 （平成 21 年 4 月～平成 21 年 10 月）
現時点における充当状況	当初の目的に従い充当いたしました。

(3)最近の株価の状況

①最近３年間の状況

	平成 20 年 12 月期	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期
始　　値	－	300 円	1,189 円
高　　値	－	2,195 円	1,587 円
安　　値	－	259 円	536 円
終　　値	－	1,160 円	729 円

（注）当社株式は、平成 21 年３月 26 日からジャスダック証券取引所ＮＥＯ（現大阪証券取引所ＪＡＳＤＡＱスタンダード）に上場しております。それ以前につきましては、該当事項はありません。

②最近６カ月の状況

	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
始　　値	540 円	509 円	482 円	395 円	323 円	450 円
高　　値	548 円	547 円	550 円	428 円	370 円	567 円
安　　値	461 円	463 円	429 円	297 円	273 円	405 円
終　　値	503 円	484 円	435 円	324 円	370 円	441 円

③発行決議の直前取引日における株価

	平成 23 年 11 月 14 日
始　　値	417 円
高　　値	422 円
安　　値	413 円
終　　値	419 円

以　上